



サクラの異変を見つけたら ～クビアカ被害の見分け方と対処法～

近年、特定外来生物である「クビアカツヤカミキリ」による被害が全国で拡大しています。市内でも被害が確認されており、放置するとサクラなどの樹木が枯れてしまう恐れがあります。

大切な景観を守るため、早めの発見と対応が重要です。一人ひとりの気付きと行動が被害の拡大防止につながります。

問合せ 環境課 (内線 3125)



クビアカツヤカミキリとは

「特定外来生物」に指定されている害虫であり、主にサクラ、モモ、ウメなどの樹木に深刻な被害を及ぼします。特に問題となるのは幼虫による被害で、樹木の内部に侵入し、幹の中を食い荒らすことで最終的には枯れてしまう場合もあります。

また、特定外来生物は生きたままの飼育、運搬、保管等が法律により禁止されており、これらに違反した場合には罰則が科せられることがあります。



体長
2.5 ~ 4cm程度

クビアカツヤカミキリ

このような症状を見逃さないで



● フラス(木くず)

幼虫が木の内部を食べた際に排出するもので、被害を見分ける最もわかりやすいサインです



● 幹の穴

幼虫が成長して外へ出る際に開ける穴で、内部に侵入している可能性を示します



● 樹皮のめくれ・傷

成虫は樹皮をかじって傷をつけ、その部分に卵を産み付けます



見つけたら すぐ対応を

— 被害拡大防止のために —

成虫を見つけたら



その場で殺虫剤などを使用して確実に駆除してください

フラスを見つけたら



木の内部に幼虫がいる可能性があります。薬剤の注入などで対策してください



枯れてしまったサクラ



早期発見・対応により被害の拡大を防ぎ、大切なサクラを守りましょう

鴻巣市では、イベントなどを通じて市民の皆さんにクビアカツヤカミキリの生態や被害の現状、防除の重要性を理解していただき、自主的な防除活動に繋げることを目的に啓発活動を実施します。

「サクラを守れ! クビアカツヤカミキリ捕獲大作戦」



市内で捕獲イベントを開催し、実際に成虫を捕獲しながら生態や防除方法を学びます

日時 6月20日(土) 9時～11時
場所 鴻巣公園
対象 市内在住の方
申込み 6月15日(月)までに電話またはメールで環境課
 (☐kankyo@city.kounosu.saitama.jp)

クビアカ捕獲隊の募集

市民の皆さんと協力し、地域ぐるみで捕獲活動を行う「捕獲隊」を募集します

募集期間 6月1日(月)～8月31日(月)

対象 市内在住の方

内容 市内の公園等で成虫を探し、見つけ次第駆除します

申込み 捕獲イベント会場
または環境課窓口



▲詳細は市HP

防除薬剤の配布

自宅のサクラ等で防除に取り組む方に、必要な薬剤を無料で配布します

日時 6月1日(月)～

対象 市内在住の方(条件有)
※1世帯につき1本

定員 50本(先着順)

申込み 環境課窓口

※写真提供：埼玉県環境科学国際センター